

施策番号	0903		
施策名	国際MICE都市～国際会議，企業研修旅行，イベント等による国際集客都市～への飛躍		
概要	MICEの誘致・振興は，京都ブランド・都市格の向上，市民生活の活性化，経済効果など，社会的及び経済的両面において京都市の都市活力を支え，向上させるものであるとともに，京都観光の質の向上に寄与することが期待され，京都市の都市戦略として全市を挙げてMICEの誘致・振興に取り組む。		
担当局・部室	産業観光局・観光MICE推進室	共管局・部室	
上位政策	9 観光		
施策に関係する主な分野別計画等	京都市MICE戦略		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		年度	23年度	24年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	コンベンション開催件数(件)	-	a	155	137	250	54.8%	c	1.00
2	コンベンション参加者数(人)	-	a	107,643	78,980	107,643	73.4%	d	1.00
3	コンベンション海外参加者数(人)	-	a	16,363	15,569	16,363	95.1%	b	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
			a	客観指標総合評価				c	

2 市民生活実感評価 *この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		24年度回答							
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価	
1	京都は、国際会議などが盛んに開かれるMICE（企業のミーティング、企業研修旅行、国際会議、イベントなどの総称）都市になってきている。	46	175	190	52	23	486	b	
		9.5%	36.0%	39.1%	10.7%	4.7%			
2	-							-	
3	-							-	
4	-							-	
5	-							-	
		市民生活実感調査総合評価							b



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						23 年度	B
	重み付け	☐ 客観指標	c	☒ 市民の実感	b			
(重み付けの理由) 観光客だけでなく市民にとっても満足度の高い観光振興を図ることを目的としており、市民生活 実感評価を重視して評価することが妥当であると考えため。								
(原因分析) ・客観指標評価は、東日本大震災等の影響により、コンベンション開催件数、総参加者数や海外 参加者数が落ち込んだことによりc評価となったと考えられる。 ・市民生活実感評価は、京都の国際MICE都市としてのイメージが市民の間にできつつあるため、 b評価になったものと考えられる。 ・このため、総合評価はB評価となった。							年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	コンベンション等MICE推進事業	87,989	72,883	普通	産業観光局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・平成22年3月に策定した「京都市MICE戦略」に基づき、平成24年度に体制強化を図った京都文化交流コンベンションビューローと連携し、受入環境の整備や積極的な誘致施策の推進などにより、コンベンションをはじめとしたMICEの誘致活動を進めていく。

施策名	0903	国際MICE都市～国際会議，企業研修旅行，イベント等による国際集客都市～への飛躍				
指標名	コンベンション開催件数（件）					
担当課	観光MICE推進室		連絡先	2 2 2－4 1 3 0		
1 指標の説明						
1年間に京都市域内で開催された会議で，日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議の開催件数						
2 指標の意味						
経済，文化，国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：京都文化交流コンベンションビューロー「京都で開催の国際会議」，日本政府観光局「国際会議統計」						
4 数値						
	前回数値 22年度	最新数値 23年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	155	137	18件減	250	国内第2位を上回る数値（250件）	54.8%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満						
6 基準説明						
当該指標については，民間部門の寄与度が比較的高いことや景気動向にも影響を受けるため，80%以上をa，以下20%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
		23	24			
-	a	c				

指標名	コンベンション参加者数（人）					
担当課	観光MICE推進室		連絡先	2 2 2－4 1 3 0		
1 指標の説明						
1年間に京都市域内で開催された会議で，日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議に参加した人数						
2 指標の意味						
経済，文化，国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：京都文化交流コンベンションビューロー「京都で開催の国際会議」，日本政府観光局「国際会議統計」						
4 数値						
	前回数値 22年度	最新数値 23年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	107,643	78,980	28,663人減	107,643	過去5年間の最高値	73.4%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新の数値が a：過去5年間の最高値以上 b：過去5年間の上中間値（最高値と平均値の中間値）以上～最高値未満 c：過去5年間の平均値以上～上中間値未満 d：過去5年間の下中間値（平均値と最低値の中間値）以上～平均値未満 e：過去5年間の下中間値未満						
6 基準説明						
各年度の具体的な数値目標の設定が困難であるため，過去5年間の数値の推移で評価する。 最高値 107,643人（平成22年） 平均値 86,422人 最低値 65,200人（平成20年）						
7 評価結果						
		23	24			
-	a	d				

施策名	0903	国際MICE都市～国際会議，企業研修旅行，イベント等による国際集客都市～への飛躍					
指標名	コンベンション海外参加者数（人）						
担当課	観光MICE推進室		連絡先	2 2 2－4 1 3 0			
1 指標の説明							
1年間に京都市域内で開催された会議で日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議への海外参加者数							
2 指標の意味							
経済，文化，国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標			3 算出方法・出典等				
			出典：京都文化交流コンベンションビューロー「京都で開催の国際会議」，日本政府観光局「国際会議統計」				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度	
数値	16,363	15,569	794人減	16,363	過去5年間の最高値	95.1%	
	全国順位	中長期目標			備考	数値の公表時期の関係により，評価は暫定値で行い，前回数値は実数に修正する。	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準							
最新の数値が a：過去5年間の最高値以上 b：過去5年間の上中間値（最高値と平均値の中間値）以上～最高値未満 c：過去5年間の平均値以上～上中間値未満 d：過去5年間の下中間値（平均値と最低値の中間値）以上～平均値未満 e：過去5年間の下中間値未満			6 基準説明				
			各年度の具体的な数値目標の設定が困難であるため，過去5年間の数値の推移で評価する。 最高値 16,363人（平成22年） 平均値 14,165人 最低値 11,966人（平成20年）				
7 評価結果							
		23	24				
	-	a	b				